

スカパーJSAT株式会社

宇宙安全保障分野での取り組みと期待

2026年07月30日



スカパーJSAT株式会社
宇宙安全保障事業本部

宇宙事業

- 1989年に初衛星を打上成功
 - ✓ 35年以上の衛星オペレーター実績あり
- 衛星通信及びマネージドサービスの提供
 - ✓ 顧客基盤
 - 政府機関
 - インフラ企業
 - 法人企業
 - 携帯事業者
 - 放送事業者
 - その他

アジア最大の衛星オペレーター事業者



日本最大級の有料多チャンネルプラットフォーム

- 1996年サービス開始
- 多チャンネル事業
 - ✓ 3衛星利用
 - ✓ 光ファイバー
 - ✓ OTT、VOD
- 240万人以上の登録者 2026年6月末現在
- 約130のチャンネル 2026年6月末現在

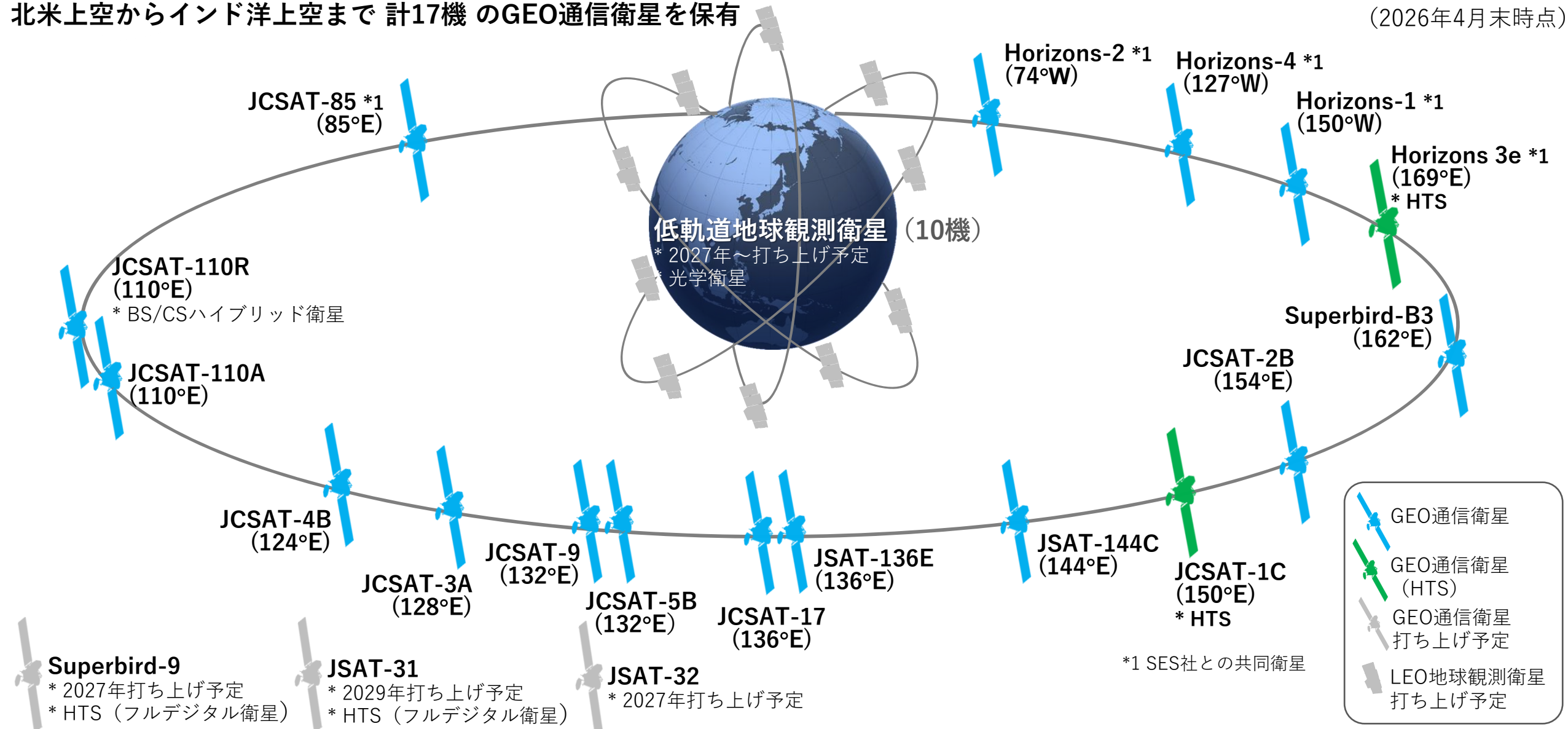


メディア事業

当社衛星フリート

北米上空からインド洋上空まで 計17機 のGEO通信衛星を保有

(2026年4月末時点)



衛星管制センターのネットワーク

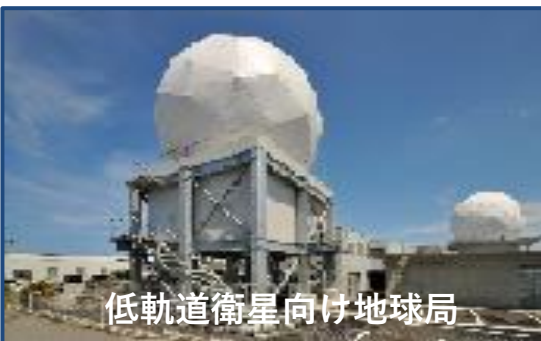
北海道ネットワーク管制センター
(SPN : Space Port North)
北海道千歳市 (S帯利用可)



副局:山口ネットワーク管制センター
(SPW : Space Port West)
山口県山口市



沖縄ネットワーク管制センター
(SPS : Space Port South)
沖縄県糸満市 (S帯利用可)

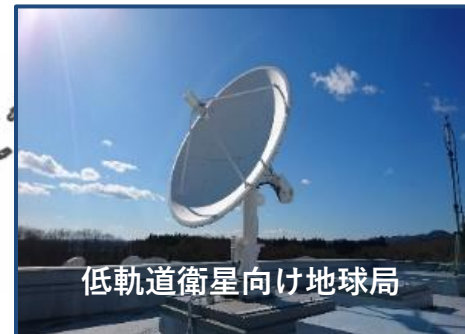


開設予定
熊本ネットワーク管制センター
(SPK : Space Port Kumamoto)
熊本県南関町

主局:横浜衛星管制センター
(Yokohama Satellite Control Center) 神奈川県横浜市



副局:茨城ネットワーク管制センター
(SPE : Space Port East)
茨城県常陸大宮市 (S帯利用可)



宇宙安全保障への貢献

安全保障領域の成長を支える需要環境と事業機会

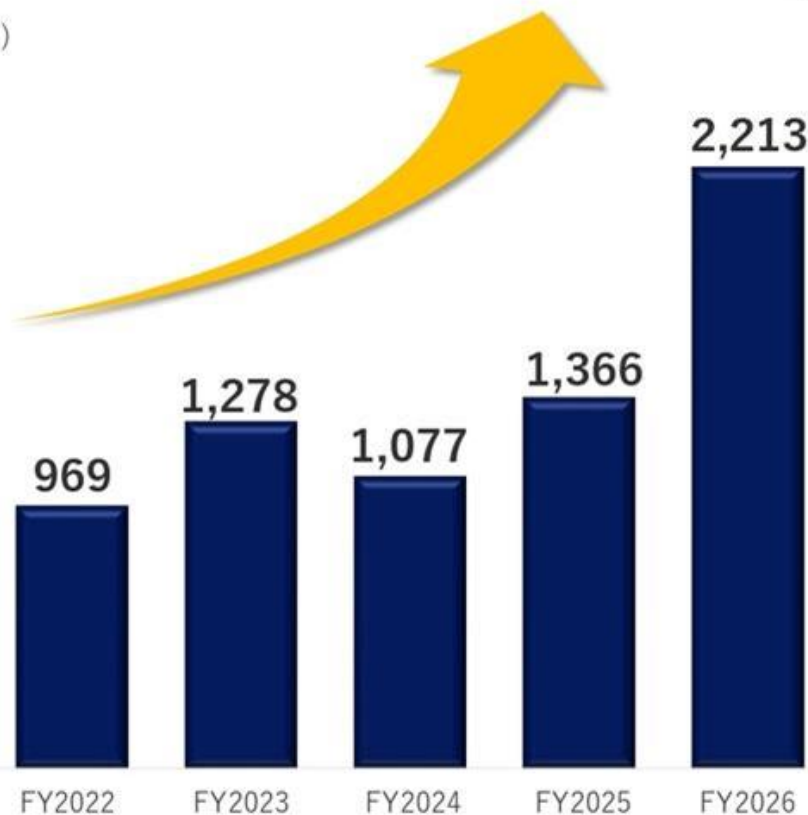
収益基盤強化

事業の進化

新規領域の開拓

防衛省の宇宙関連予算の推移

(億円)



防衛力整備計画の重要分野と当社取り組み



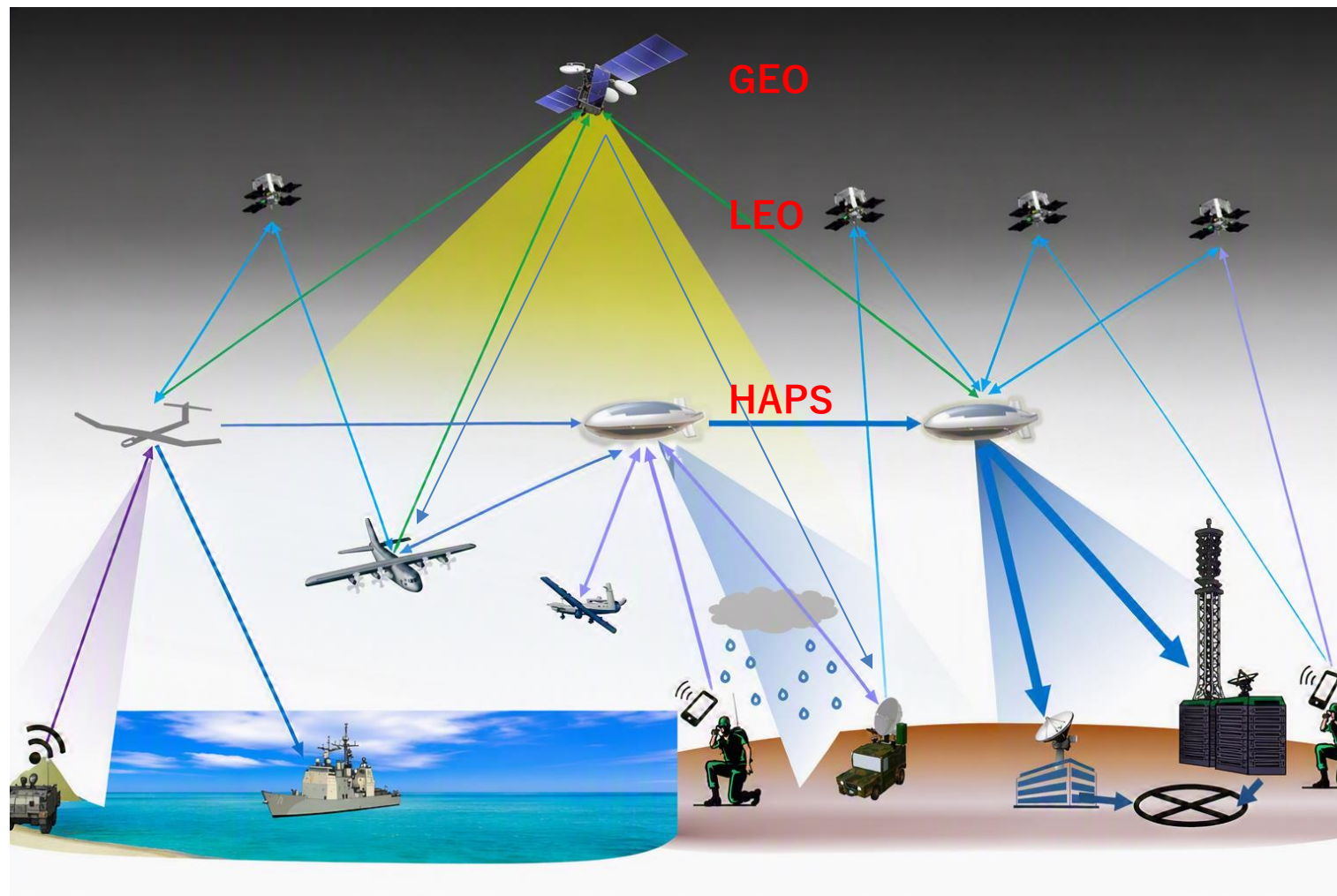
*金額は2023-2027年度の事業費

■ スペースインテリジェンス事業
■ 通信関連事業
■ 開拓領域

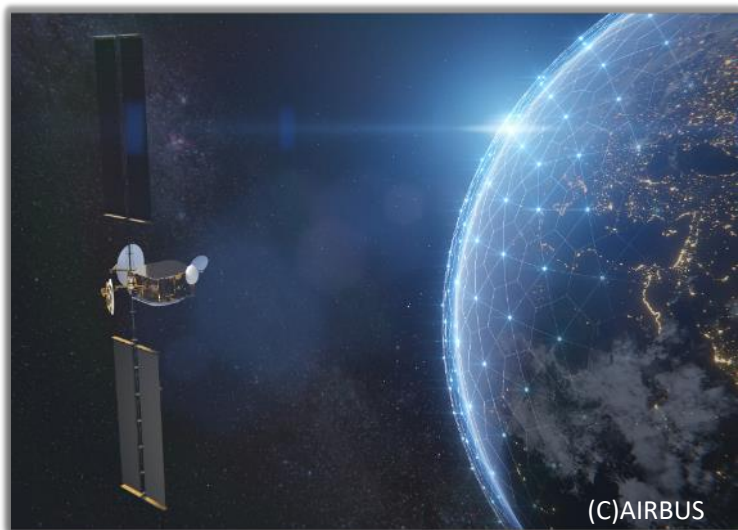
参照：内閣府「令和8年度当初予算案および令和7年度補正予算における宇宙関係予算について」
ほか各年度の同資料をもとに当社にて作成

マルチレイヤ通信ネットワークの実現

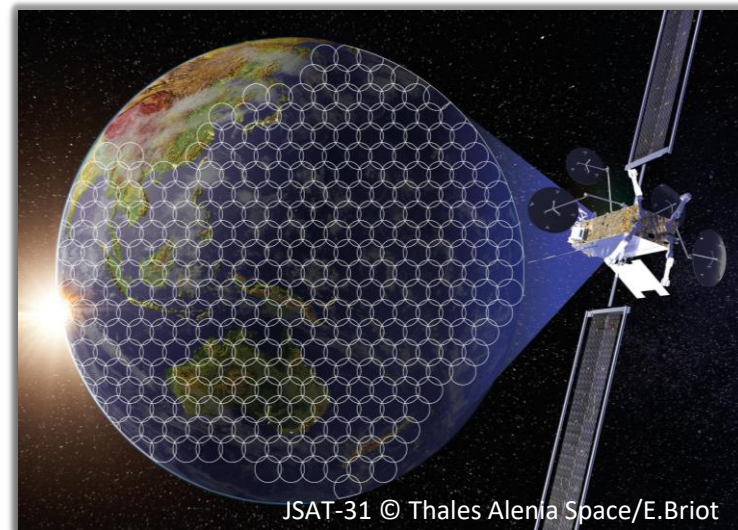
- GEO・LEO・HAPS統合ネットワークにより、抗たん性の高いマルチバンド・マルチオービットネットワークの実現
- 地上インフラや災害状況に依存しない強靱な衛星通信システムを実現することで我が国の宇宙安全保障環境に寄与



ソフトウェア定義衛星の導入



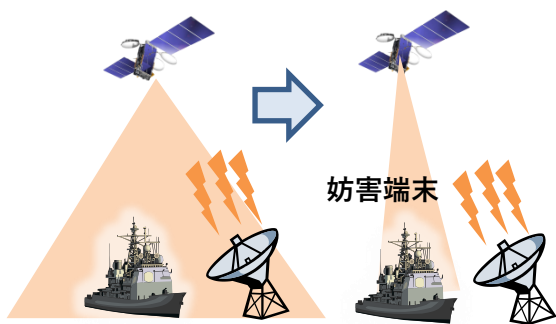
Superbird-9 (SDS) Launch in 2027



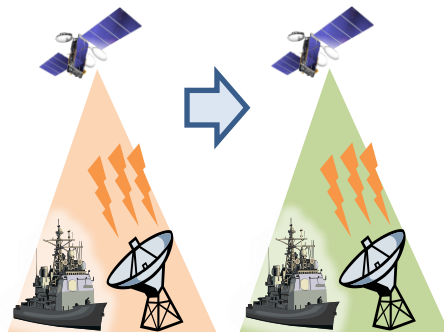
JSAT-31 (SDS) Launch in 2029

強靱な衛星通信のイメージ

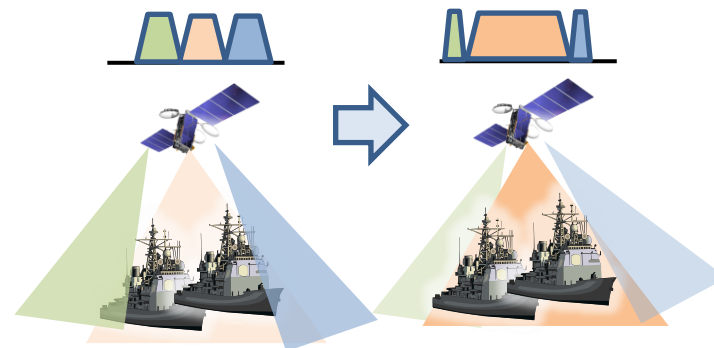
①ビームカバレッジの変更



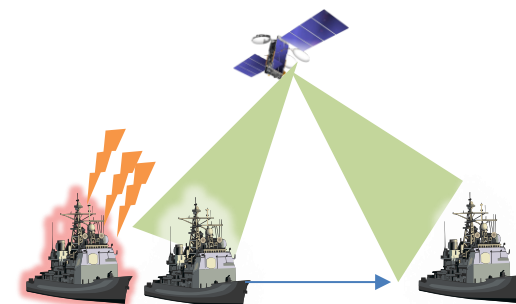
②周波数の変更



③ビームの伝送容量の変更



④ビームのトラッキング運用



宇宙戦略基金：衛星QKDへの取り組み

JAXA 宇宙戦略基金事業「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」を
FY25-FY29までの間実施。研究代表機関は国立研究開発法人情報通信機構（NICT）



SPACE
STRATEGY
FUND

【宇宙戦略基金事業の概要】

- 2029年度打上げ予定
- 衛星-地上間実証を予定
- LEO衛星300kg級衛星による実機実証

【スカパーJSATの役割】

- 当社は実施機関の一つとして2025年7月より業務の一部へ参画
- 衛星管制システム等の設計検討や市場・技術動向調査などを今後実施予定

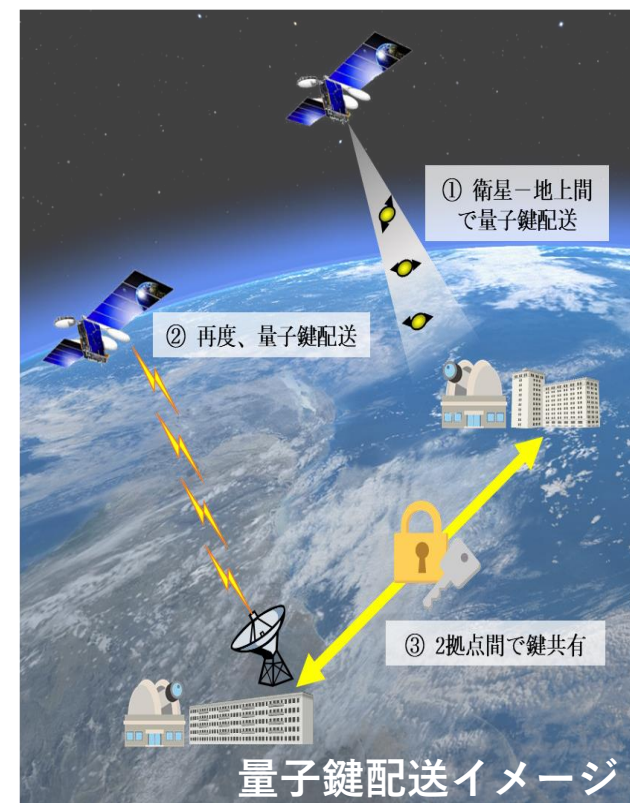
量子鍵配送（QKD：Quantum Key Distribution）

- 第三者（盗聴者）に情報漏洩することなく暗号鍵を2者間で共有する方法。

量子暗号衛星の特徴

- 長距離（地球上のあらゆる地点）に対し、暗号鍵を配送することが可能。
- 移動体（艦艇・航空機等）に対しても暗号鍵の配送が可能。
- 盗聴された場合は必ず検知するため、盗聴不可能。

JAXA宇宙戦略基金「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」：<https://fund.jaxa.jp/techlist/theme10/>
スカパーJSAT ニュースリリース：https://www.skyperfectjsat.space/jp/news/20250820_1

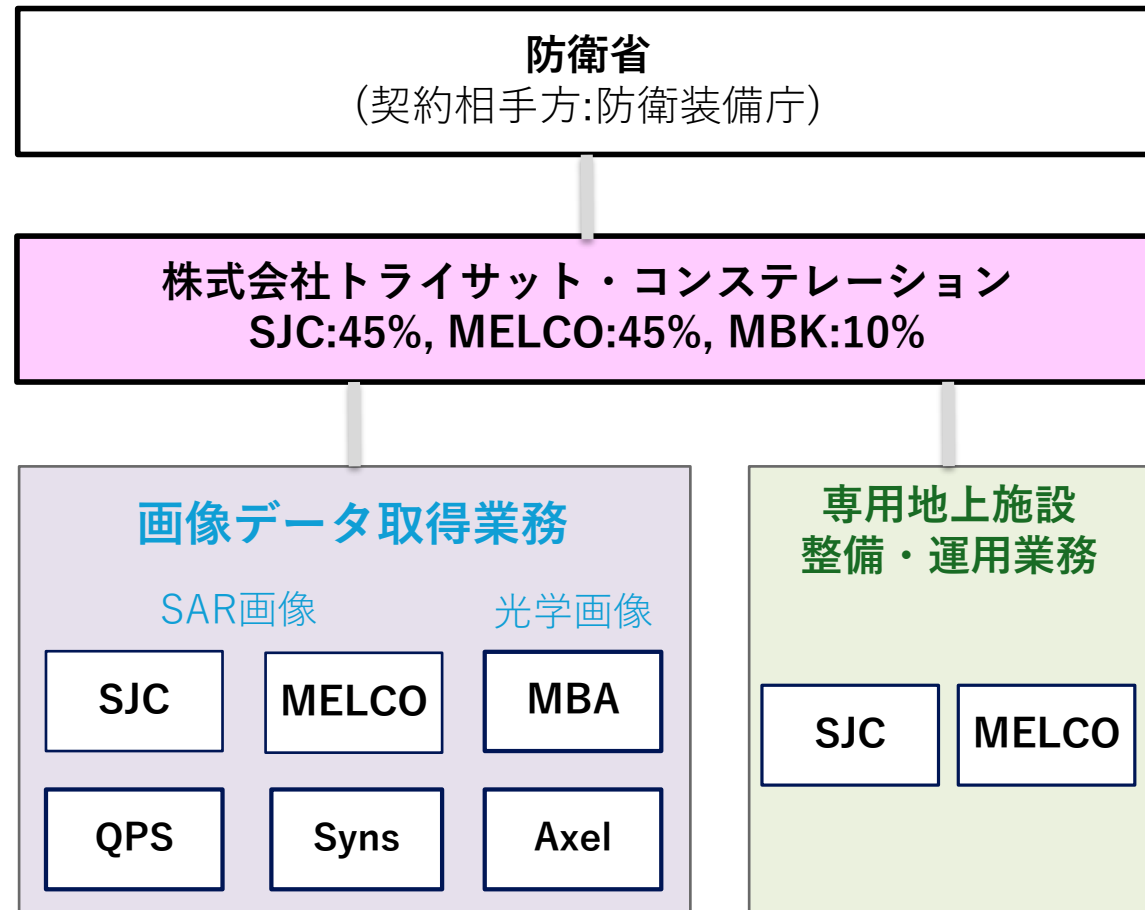


防衛省衛星コンステレーションの整備・運営等事業



(SPC株主)
スカパーJSAT株式会社[SJC]、三菱電機(株) [MELCO]、
三井物産(株) [MBK]

(協力企業)
(株)QPS研究所 [QPS]、(株)Synspective [Syns]、(株)
アクセルスペース[AXS]、三井物産エアロスペース(株)
[MBA]



2027年上期～次世代光学衛星「Pelican」10機打ち上げ



© Planet Labs PBC

30cm級高解像度

優先撮像権の確保

データの著作権保有

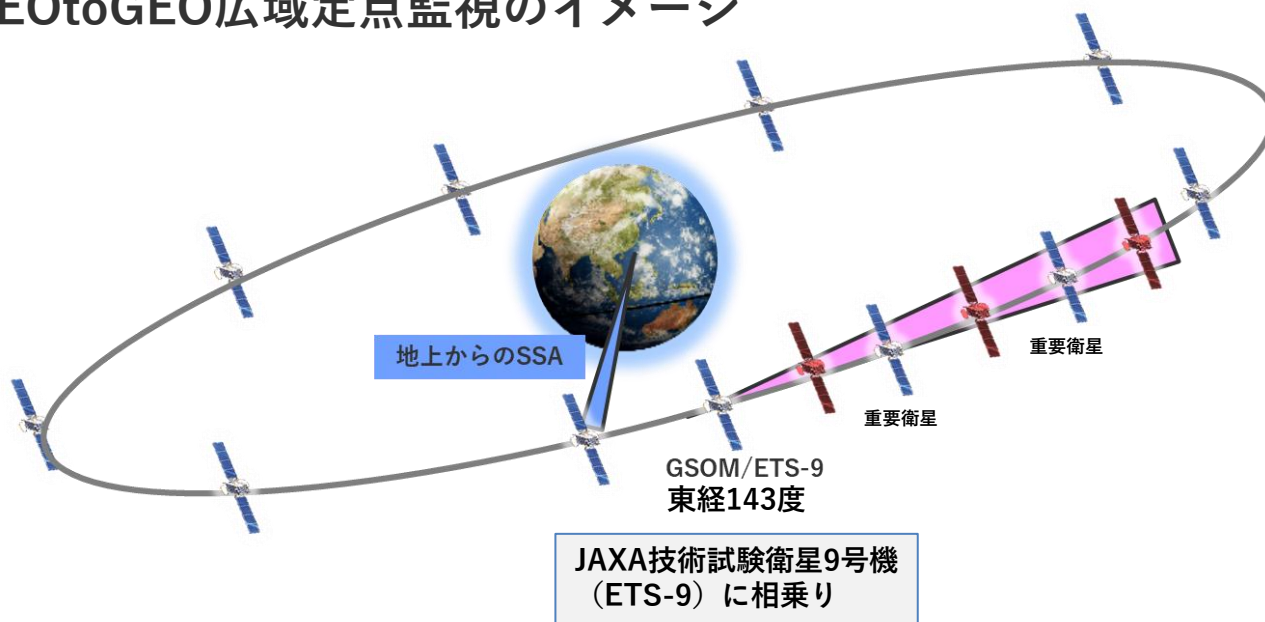
高頻度データ取得

民間衛星による宇宙状況の監視 (SSA)

GSOM(GeoStationary Optical Monitor)

- **GSOM**は、今後、打上げ予定のETS-9(東経143度)にホステッドペイロードとして搭載。
- 常続的な領域監視において、**変化を抽出**する事でRPOする**所属不明な衛星**や**スペースデブリ**の存在有無を検知。
- GEO-basedの民間光学センサーとして**静止軌道帯 (東側)**の**常続的な領域監視**を行う。

◆GEOtoGEO広域定点監視のイメージ



昼間の逆光時間(Noon Gap)をカバー

曇天日も監視可能

地上光学望遠鏡/レーダーの
運用中断期間の補完

宇宙スタートアップの成長サポート 100億円の投資枠



協業シナジー

パートナーシップによる
新規ビジネスの創出

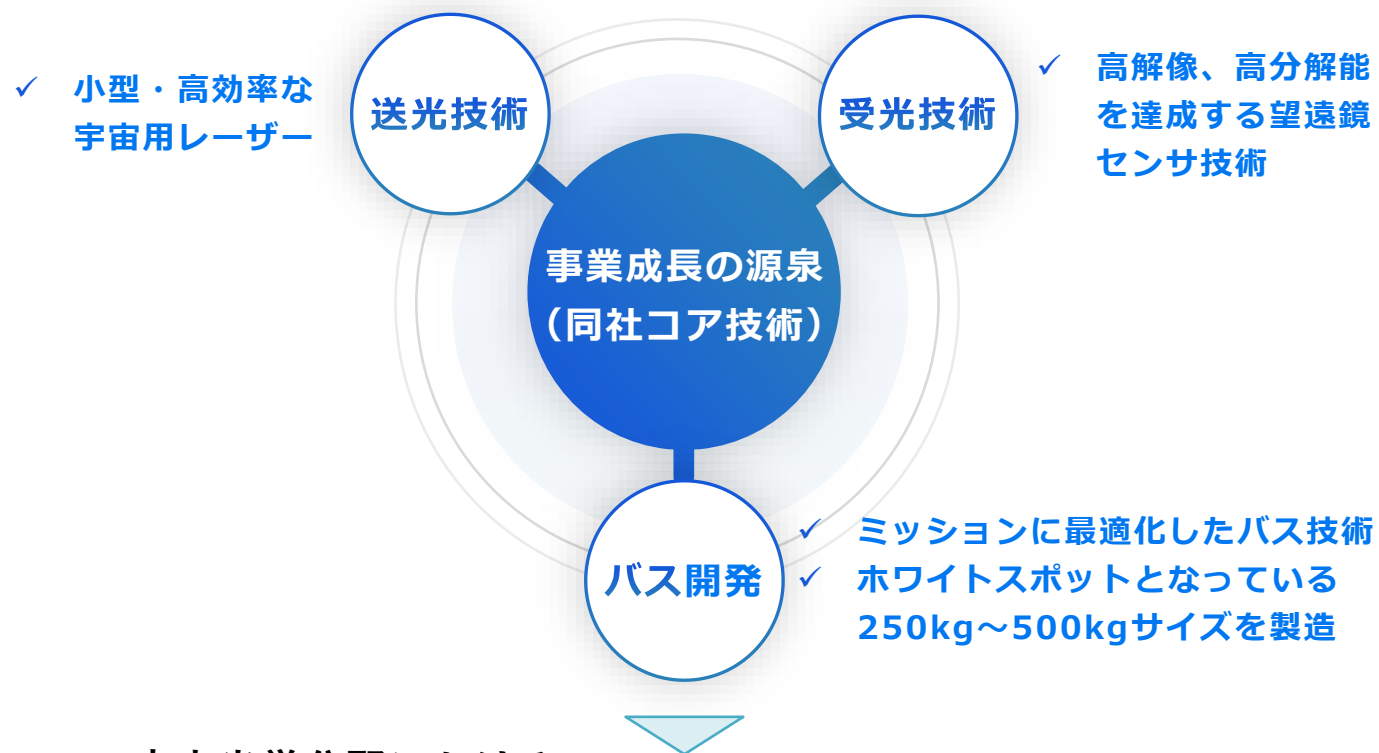
ビジネス創出を
資金・知見でサポート



新たな価値創造

スカパーJSAT発のスピナウトスタートアップ

ハイパワー・高効率な宇宙用レーザーによる送光技術の中核に、衛星ライダーやレーザーによるスペースデブリ除去など、世界に先駆けた宇宙光学事業を実現



宇宙光学分野における

グローバルリーダーになることを目指す

主な事業進捗

契約先	: 防衛省
事業名	: 軌道上での自国衛星の監視・ 防御技術（測距）
契約時期	: 令和7年11月21日
契約先	: 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
事業名	: 高度計ライダー衛星 衛星システム /衛星運用システム概念設計
契約時期	: 令和6年8月22日

「軌道上サービス」領域への本格展開を加速

2026年5月19日

株式会社アストロスケールホールディングスと戦略的パートナーシップの構築合意

- 人工衛星の点検や修理、寿命延長などを行う「軌道上サービス」と呼ばれる分野において連携し、新たなビジネスの展開を共同で推進。あわせて、関係強化の一環として資本・業務提携を実施。
- スカパーJSATの衛星運用に関する知見およびインフラ基盤と、アストロスケールの軌道上サービス技術を融合することで、信頼性の高い宇宙ソリューションの実現を目指す。

民間活用に向けた今後の期待

- 宇宙安全保障分野における民間活用強化
 - 民間サービスの開発支援・調達の迅速化
 - 予備自衛官制度の見直し
 - 民間施設等の活用・セキュリティ面への対応支援
- 研究開発分野での社会実装スピード向上
 - 政府の意思決定の迅速化
- 周波数/軌道権益の維持

